

## 第3学年\*組 総合的な学習の時間指導案

指導者 箕輪 正和

研究主題：地域と自分の未来について考え、行動できる子どもの育成  
 — 見方や考え方を広め、伝え合う力を高める協同的な学びを通して —

学年テーマ：広めよう！牛久の特産物

1 単元名 落花生で町おこし『牛久落花生 No. 1プロジェクト 2013』

2 単元の目標

- 落花生で町おこしをする方法について、友達と協力しながらアドバイスをし合うことができる。  
(かかわる力)
- 落花生で町おこしをする方法をいくつか考え、その中で一番よい方法を選び説明することができる。  
(学ぶ力)
- 友達の意見やゲストティーチャーの評価を聞くことで、自分の課題に気付き、今後の活動の見通しをもったり計画を立てたりすることができる。  
(見つめる力)

3 単元について

(1) 単元観

本単元は、自分たちで収穫した落花生を使って、牛久市を有名にしようという活動を通して、地域社会に生きる児童が、その地域ならではのよさに気付いたり、地域社会の問題を自分のこととして受け止めたりすることができる単元である。また、そのよさや問題について、日々の生活の中で自己の生き方との関わりで考え続け、よりよい解決を目指して行動することが望まれる単元でもある。しかし、これらの課題については、地域の大人も含めだれもが簡単に答えを見出せるようなものではなく、また従来の教科の枠組みでは必ずしも適切に扱うことはできないものなので、まさに総合的な学習の時間で扱うべき単元であると考えられる。

(2) 児童の実態 (男子\*\*人, 女子\*\*人, 計\*\*人)

調 査 内 容	実 態			
	とてもあてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
1 総合的な学習の時間の活動は好きですか。	**	**	**	**
2 自分で目標を持って活動できていますか。	**	**	**	**
3 活動に必要な道具や資料を自分で集めたり持ってきたりしていますか。	**	**	**	**
4 活動の中で不思議や疑問をたくさん見付けていますか。	**	**	**	**
5 見付けた疑問を自分の力で解決しようとしていますか。	**	**	**	**
6 次にしたいことや、活動の計画を立てていますか。	**	**	**	**

<考察> 総合的な学習の時間に対する興味・関心は高く、その時間内の活動についての目標をしっかりと持ち、不思議や疑問を見付けながら意欲的に活動していることが考えられる。しかし、自分で見付けた疑問や不思議を自分の力で解決しようとしたり、それを基に今後の活動の見通しを持ったり、活動の計画を立てたりする事が出来ている児童の数は多くない。このことから、毎時間の総合的な学習の時間には意欲的に取り組んでいるものの、教師が提示した課題に対して活動しているだけで、自らの興味・関心を深め、それを解決しようとする活動には結び付いていないことが考えられる。

(3) 指導観

児童は自分たちで育てた落花生の収穫を喜び、試食したり、家族に食べさせたり、料理したりと、その落花生を今後どのように扱っていくか、楽しみにしているところである。しかし、その落花生をただみんなで分けて食べてしまうのではなく、その落花生を通して、落花生が地域の特産物であることや、牛久市の地域の特色、落花生生産における問題点などにも目を向けさせたい。そして、今後自分たちが何を考え、どのように活動していくことが地域や自分のために役立つのかを考えさせることで、地域と自分の未来について考え行動できるようにしていきたい。

(4) 研究主題との関連

自分たちが調査したことをまとめ、お互いに発表し合うことで完結するような学習活動を展開するのではなく、「自分たちが育てた落花生で牛久市を有名にする」という目標を中心に据え、今まで自分たちで調べ考えてきたことを地域・社会に発信することで、自分たちの活動を地域のために役立てるようなものにしていきたい。また、友達との話し合い活動や、自己評価や相互評価などの評価活動を学習の中に積極的に取り入れることで、児童一人一人に課題追究力や問題解決力を身に付けさせたい。

4 単元の指導計画（30時間扱い）

	時	学習活動及び内容	指導上の留意点と評価（評価は◎）
課題の設定（4時間）	1	<p>落花生がたくさん収穫できたことをみんなで喜び合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが収穫した落花生を使って、今後どのような学習をしていくか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>落花生を収穫するまでの思い出や、苦労したこと等を思い出させ、収穫の喜びや達成感を持てるように支援する。</li> <li>◎落花生栽培の活動を振り返ることで、農園ボランティアの方へ感謝の気持ちや、友達の頑張りへの賞賛の気持ちを持つことができる。（かかわる力）</li> </ul>
	2	<p>牛久の落花生について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>牛久の落花生の生産状況を知り、どうしたら牛久の落花生の生産量が上がるかを考える。</li> <li>自ら見付けた課題を解決するための見通しを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>牛久の落花生を自慢に思っている児童に、千葉県の市町村の方が生産量が高いことを知らせ、問題意識を揺さぶることで、自分とのつながりを明確にした課題を設定できるように促す。</li> <li>自分で設定した課題を解決していくための見通しを持たせることで、自らの課題をより明確にできるようにする。</li> <li>◎牛久の落花生の生産量を上げる方法を考え、それを実行するための見通しを持っている。（学ぶ力）</li> </ul>
	3 4 (検証授業)	<p>牛久落花生 No. 1プロジェクトに向けて自分ができていることを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>牛久の落花生をもっと有名にするアイデアを考える。</li> <li>自分が考えたアイデアのよい点や、問題点を考えながら、より具体的で効果的なものに改善していく。</li> <li>自分が考えた方法や解決後の結果を友達と評価し合うことで、今後の活動の目的や計画が明確になった課題を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考ツールの一つである「メリット・デメリットチャート」の考え方を取り入れたワークシートを活用することで、自分のアイデアのよさや改善点を客観的に考察できるようにする。</li> <li>友達に自分の課題や解決への見通しを伝えることで、今後何について、どんなことを、どのような方法で活動していくかが明確になっているかを評価し合うように助言する。</li> <li>自分の課題と、課題解決への計画を発表し合うことで、自分の課題をよりよいものに改良していくように助言する。</li> <li>◎牛久の落花生を有名にするアイデアのよさや問題点に気づき、よりよく改善していくことで、今後の活動の目的や計画が明確になった課題を設定することができる。（見つめる力）</li> </ul>
情報の収集（11時間）	5 15	<p>様々な方法を使って、牛久の落花生を有名にするための情報を集めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報の集め方を知る。</li> <li>街頭インタビューや、落花生工場への見学等を通して、牛久の落花生の知名度や落花生を使ったお菓子や料理にはどんなものがあるか等の情報を集める。</li> <li>落花生の生産農家を訪ね、落花生生産についての現状を知る。</li> <li>インターネットや本を利用して、全国の落花生生産についての情報を集める。</li> <li>全国のマスコットキャラクターについてのデータを集める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の集め方については、情報の収集場面がイメージできるようなガイドブックを使用し、様々な情報の集め方を知らせる。</li> <li>インタビューをする児童には、「誰に」、「どのようなことを聞きたいか」を明確にすることで、「どこに」、「何時頃」インタビューに行けばよいかを考えられるように助言する。</li> <li>落花生工場の見学は、教師から提案するのではなく、児童から「見学したい」という意見を引き出してから行うようにする。</li> <li>◎調べる目的を明確にしながら、インターネットや本、インタビュー等の手段を用いて情報を収集している。（学ぶ力）</li> <li>◎体験や交流を通して、情報収集の手段のよいところや問題点に気付いている。（見つめる力）</li> </ul>
整理・分析（8時間）	16 23	<p>集めた情報を整理して、牛久の落花生を有名にする方法を実行しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報を整理・分析する方法を知る。</li> <li>落花生を使った郷土料理を作るための調理法を考える。</li> <li>落花生の栄養に関する情報を選び、取り出しや吟味を行う。</li> <li>落花生と健康について、表やグラフにまとめて整理・分析する。</li> <li>全国のマスコットキャラクターについて集めた情報を整理・分析し、自分たちの活動にふさわしい情報を取り出す。</li> <li>落花生についての情報からクイズになりそうなものを選び出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を整理・分析するための思考ツールについて紹介し、どうしたら集めた情報を活用できるかについて理解できるようにする。</li> <li>料理や落花生の栄養について調べている児童には、栄養教諭からアドバイスをもらえるように促す。</li> <li>落花生の料理や栄養などに興味を持っていない児童には、児童がイメージしやすいクイズや、全国で流行しているマスコットキャラクター等に目を向けるように助言する。</li> <li>情報を集めたが、そこから考えや意見を作り出せない児童には同様な目的で活動している友達に相談し、アドバイスをもらうように助言する。</li> <li>◎多様な情報を比較したり分類したり関連付けたりすることによって、考えや意見を導き出している。（学ぶ力）</li> </ul>
まとめ・表現（7時間）	24 30	<p>伝えたいことを効果的にまとめ、たくさんの人たちに発信していこう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まとめ方や表現の方法を知る。</li> <li>自分たちが調べてきたことをまとめて、落花生工場と商工会議所に提案する。</li> <li>商品化できそうなものがあれば、自分たちで作り、店舗に置いてもらう。</li> <li>牛久に観光で訪れている人に自分たちが育てた落花生の試食をしてもらったり、パンフレットを配ったりする。</li> <li>自分たちの1年間の活動を2年生に伝え牛久の落花生について知ってもらおう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報のまとめ方や表現の方法の特徴を知り、どのようにまとめて表現したらより効果的かを考えられるようにする。</li> <li>中間発表会を行い、その中で児童同士で意見交換を行うことで問題点を指摘したり、アドバイスをし合ったりしながら、より相手に分かりやすい表現方法について考えるように助言する。</li> <li>発表会で、地域の方や2年生から感想や賞賛の言葉をもらうことで、自分たちの活動への成就感や達成感を味わわせたい。</li> <li>◎相手に分かりやすく伝える工夫をしている。（かかわる力）</li> <li>◎これまでの取組を振り返り、学んだことをまとめたり、自己評価したりしている。（見つめる力）</li> </ul>

5 本時の指導（第1時）

(1) 目標

落花生栽培の活動を振り返ることで、農園ボランティアの方への感謝の気持ちや、友達の頑張りへの賞賛の気持ちを持つことができる。 (かかわる力)

(2) 準備・資料

総合ファイル、ワークシート、活動写真

(3) 展開

配時	学 習 活 動	習 態	教師の指導・支援と評価 (○は協同的な学びの視点, □は評価)
5	<p>1 本時の課題を把握する。</p> <p>落花生がたくさん収穫できたことを、みんなで喜び合おう。</p>	全	<ul style="list-style-type: none"> <li>落花生栽培に関わる写真を掲示することにより、今までの作業について振り返りやすいようにする。</li> </ul>
5	<p>2 今までの落花生栽培の活動を思い出す。(活動)</p> <p>[予想される児童の反応]</p> <p>ア たくさん雑草を抜くのが大変だった。</p> <p>イ そう言えば、種をまいたけどカラスに食べられちゃったから、食べられない方法を考えたね。</p> <p>ウ せっかく大きくなったのに、ウサギに掘り起こされて食べられちゃったね。</p> <p>エ でも、たくさんの落花生が収穫できてうれしかった。</p>	全	<ul style="list-style-type: none"> <li>落花生を収穫するまでの作業の思い出や、苦労したことなどを思い出させ、収穫の喜びや達成感を持てるようにする。</li> <li>児童の発言を、活動の様子を表した写真と関連付けたり、時系列でまとめたりすることで、この半年間の活動の様子を一層把握しやすいようにする。</li> <li>児童の発言の中で、それは誰の活動だったのか、誰の助けのおかげでそうなったのかななどについても想起できるように助言していく。</li> </ul>
15	<p>3 落花生を栽培してた反省点を話し合い発表する。(協同・表現の共有)</p> <p>[予想される話し合い]</p> <p>ア もっとたくさん種をまいたらもっとたくさん収穫できたと思う。</p> <p>イ 初めから鳥に食べられないような工夫をすればよかった。</p> <p>ウ もっと自分達で雑草を抜いたり、水をあげたりすればたくさん収穫できたかもしれない。</p>	グ ↓ 全	<ul style="list-style-type: none"> <li>「もし、もう一度落花生を栽培するとしたら、どんなことに気を付けたい？」と発問し考えさせることで、自分の活動の振り返りが、次の活動をよりよいものにするために必要なことであるということに気付かせたい。</li> <li>○なかなか自分の意見を発言できない児童には、自分が苦労したこと等について思い出させ、発言できるように支援する。</li> <li>グループでの話し合いが停滞してきたら、全体での話し合いにして、考えを共有する。</li> </ul>
15	<p>4 みんなで育てた落花生を食べることで収穫の喜びを分かち合う。(活動)</p> <p>[予想される児童の反応]</p> <p>ア おいしい。</p> <p>イ いっぱいお世話してよかった。</p> <p>ウ やっぱ千葉半立ちの方がおいしいな。落花生屋さんの言うとおりであったね。</p>	個 ↓ グ	<ul style="list-style-type: none"> <li>落花生は、ナカテユタカと千葉半立ちの2品種を用意する。それぞれ煎ったものとゆでたものの合計4種を食べさせることで、自分達が収穫した落花生のおいしさから収穫の喜びを感じさせると共に、品種や調理法の違いによって味や食感等に差が出ることにも気付かせたい。</li> <li>落花生を食べたときの感動やおいしさを、収穫までの頑張りやボランティアの方々への感謝の気持ちへとつなげていきたい。</li> </ul>
5	<p>5 残った落花生を今後どうしたらいいか考える。</p>	全	<p>落花生栽培に関する活動について振り返り、農園ボランティアの方への感謝の気持ちや、友達の頑張りへの賞賛の気持ちをもつことができたか。(かかわる力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「家族に食べさせたい」や「何か料理をして食べたい」などといった、個人的で漠然とした課題をもてればよいこととする。</li> </ul>

5 本時の指導（第2時）

(1) 目標

牛久の落花生の生産量を上げる方法を考え、それを実行するための見通しを持っている。

(学ぶ力)

(2) 準備・資料

総合ファイル、ワークシート、活動写真、落花生の収穫量の資料、茨城県と千葉県の地図

(3) 展開

配時	学 習 活 動	習 継	教師の指導・支援と評価 (○は協同的な学びの視点, □は評価)
5	1 本時の課題を把握する。 牛久の落花生についてみんなで考えよう。	全	<ul style="list-style-type: none"> <li>牛久の落花生について知っていることや、落花生店のことなどを思い出させることで、牛久市と落花生の関わりが大きいことを児童に自覚させる。</li> </ul>
10	2 牛久市の落花生生産の現状を知る。(活動) 〔予想される児童の反応〕 ア やっぱり牛久市は落花生をたくさん作っているんだね。 イ 牛久市の落花生は全国ナンバーワンだね。 ウ えっ、八街市ってどこだろう。牛久市が1番じゃないのかな。 エ 茨城県は2位だけど、1位の千葉県とは差がありすぎだね。	全	<ul style="list-style-type: none"> <li>牛久市よりも、千葉の八街市などの市町村の方が圧倒的に落花生の収穫量が高いことを知らせることで、事象を捉える感性や問題意識を揺さぶり、より自分事として課題を設定できるようにする。</li> <li>収穫量の表を提示する際には、視聴覚教材等を効果的に使用することで、児童の興味を引き付けるようにする。</li> <li>牛久市と、千葉の市町村の対比だけでなく、茨城県と千葉県も比較することで、茨城県の他の野菜などの農作物の生産にも目を向けさせたい。</li> </ul>
20	3 今後落花生をどう使っていったらよいか話し合う。(表現の共有) 〔予想される話合い〕 ア 落花生を作っている農家の人に、もっと落花生を作ってもらうように頼んでみよう。 イ 牛久の落花生を知ってもらうために宣伝するといいと思う。 ウ 牛久の落花生を使ったおいしいお菓子を開発して、みんなに買ってもらおう。	グ ↓ 全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○なかなか自分の考えを発言できない児童には、友達の見解と似ているところや違うところに付け足して発言できるように支援する。</li> <li>○自分の考えを発言している児童には、どうしてそう考えたか、そうすることによってどう変わっていくかなどについても根拠を示しながら説明できるように助言する。</li> <li>・グループでの話合いが停滞してきたら、全体での話合いにして、考えを共有する。</li> </ul>
7	4 自分が取り組みたい牛久の落花生を有名にする方法を考える。(活動・協同) 〔予想される児童の反応〕 ア 落花生農家の人にインタビューして、どうして落花生をたくさん作らないのか聞いてみよう。 イ 牛久の落花生がどのくらい有名か、他の県に住んでいる親戚に聞いてみよう。 ウ 落花生を使ったお菓子にはどんなものがあるか調べてみよう。	個	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えをうまくまとめられない児童には、友達と相談しながら考えてよいことを助言する。</li> <li>・作った課題が具体的でない児童には、教師が「どうしてそれをやろうと思ったか」や「どうやったらそれは上手くいくと思うか」などと問いかけることで、課題を明確にしていく。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>牛久市の落花生を有名にするための方法を考え、それを実行するための見通しをもつことができたか。(学ぶ力)</p> </div>
3	5 本時の学習のまとめをする。	全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の自分が行う活動を確認することで、学習への意欲を高める。</li> </ul>

5 本時の指導（3・4時）

(1) 目標

牛久の落花生を有名にするアイデアのよさや問題点に気づき、よりよく改善していくことで、今後の活動の目的や計画が明確になった課題を設定することができる。 (かかわる力)

(2) 準備・資料 総合ファイル, ワークシート

(3) 展開

配時	学 習 活 動	習 熟 形 態	教師の指導・支援と評価 (○は協同的な学びの視点, □は評価)
10	1 本時の課題を把握する。 牛久の落花生を有名にする方法を考え、活動の計画を立てよう。	全	・本時の目標は、前時に考えた牛久の落花生を有名にする方法を、より具体的なものにしていくことであることを確認する。
20	2 牛久の落花生を有名にする方法を考える。(活動) [予想される児童の反応] ア 落花生を小学校以外の人にも食べてもらい、おいしさを知ってもらおう。 イ 落花生農家の人にもっとたくさん育ててもらおうようにお願いします。 ウ 落花生を使ったおいしいお土産を作って、みんなに買ってもらう。 エ 落花生コマースシャルをつくってみんなに宣伝する。	個	・ワークシートのアイデアの欄にはキャッチコピーのような一目で何をしたいのかがわかるような記述を、方法や計画の欄には、そのアイデアの具体的なものを記述するように助言する。 ○ワークシートに記入できない児童には、どんなことをやりたいのかをペアで説明し合うことで、自分のアイデアが明確になるように助言する。 ○自分のアイデアが書けた児童からペアやグループでのアドバイスをし合ってよいことを伝える。
20	3 自分が考えた方法をグループで伝え合い、その考えに対してお互いにアドバイスをし合う。(協同) [予想される話し合い] ア 小学校以外の人に食べてもらうって言うけど、牛久市の人に食べてもらっても意味がないと思うよ。 イ 落花生農家の人はずっとたくさん作らないのか考えないといけないね。 ウ 落花生のお菓子作りはいいと思うよ。でも、どんなお菓子を作ればよいのかな。 エ 宣伝には「ゆるキャラ」のようなキャラクターがいるといいのにな。	グ	・グループの中でお互いにアドバイスをし合ったら、「よりよいかだづくりのために」のワークシートを配り、お互いの課題が今後の活動を進めていく上でふさわしいものなのか、ふさわしくないならどこを改善していけばよいかを話し合えるよう支援する。 ・友達の発表で参考になるところや、もっと聞いてみたいことがある場合には、ワークシートにメモをとるように助言する。
30	4 自分が考えた方法や、活動の見通しを全体の場で発表する。(表現の共有) [予想される児童の反応] ア ぼくは落花生農家の人に「どうして落花生をもっと作らないのか」をインタビューして、もっと作ってもらうためにはどうしたらよいか考えます。 イ 私はみんなが買って食べたいくなるような落花生のお菓子を発明して、牛久を有名にしたいです。 ウ 私は、○○さんの意見を聞いて、同じように△△したいと思いました。 エ ぼくはまだはっきり決まっていなけれど、□□君と近い気がするので、一緒にやりたいです。	全	○児童には、友達の発表を聞いて自分のアイデアや活動の見通しが変わってもいいことを伝え、その際には「○○さんの発表を聞いて△△のように考えが変わり、□□になりました。」のように発言することを助言する。 ・全員が発表を終えたら、自由に移動して話す時間を取り、友達同士で疑問点を聞いたり、アドバイスし合ったりするように促す。 ・友達とのアイデアの方向性が似ていて、一緒に活動していきたいという児童がいたらお互いのやりたいことや見通しをしっかりと話し合わせ、本当に一緒にできるのかを確認させたい。
10	5 本時の学習のまとめをする。	全	・次時の自分が行う活動を確認することで、学習への意欲を高める。